

核燃・だまっちゃおられん津軽の会

# 第11回 市民講座

各地の原発で、地震被害が相次いでいます。新潟中越地震では、柏崎刈羽原発5号機が、2000ガルを超える激震に見舞われ、危うく大惨事になるどころでした。

その後、柏崎刈羽原発では、耐震構造の基準値を5倍近くに引き上げましたが、六ヶ所再処理工場や東通原発では、ほとんど従来通りの値です。本当にこれで大丈夫なのでしょうか？

新潟大の立石教授は、「六ヶ所断層」の存在証明は市民でもできる、と呼びかけ、それに応えて核燃・だまっちゃおられん津軽の会は、「ここほれワンワンプロジェクト」を始動させました。多くの学者、研究者が加わり、現在も調査を進めています。原発問題住民運動全国交流集会でも注目された調査でした。この度も、立石先生はこの調査の続きに来青されました。

マグニチュード8レベルの大地震が再処理工場を襲う危険性は本当にあるのでしょうか？

柏崎刈羽原発の被害実態をもとに、六ヶ所付近の地層構造の解析、そして、ここほれワンワンプロジェクトの意義について、立石教授がわかりやすくお話しします。



テーマ

「六ヶ所断層と『ここほれワンワンプロジェクト』の意義」

講師 新潟大学理学部地質学学科・地球物質科学科教授

とき：12月6日（月）午後6時～8時

ところ：弘前市民参画センター3階

参加費無料

◇どなたでもお気軽にご参加ください

主催：核燃・だまっちゃおられん津軽の会

連絡先：竹浪純 080-5229-6076

eメール：takenami@coral.ocn.ne.jp

